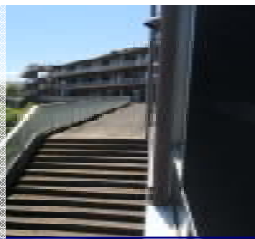


田谷の風

第44号

発行日:令和 3 年 10 月 10 日(四半期発行)
介護老人保健施設ケアポート・田谷機関紙
〒244-0844 横浜市栄区田谷町 2030-3
TEL:045-858-5882
発行責任者:吉田憲一



田谷祭り・敬老祭2021

虫の音にも深まる秋を感じる頃となりました。ますます実りの季節を迎える事と存じます。

コロナ禍でのお祭り、敬老祭も今回で2回目となり以前のように大々的とはいきませんが、職員一同知恵を出し合い和やかなお祝いになったかと思えます。

今年は米寿、白寿のお祝いが6名様。百歳以上のお祝いがお二方となりました。

長寿大国らしく元気なご利用者が多く喜ばしい限りです。職員バンドのケアポケッツもお馴染みとなってきましたが、今回から一部顔ぶれが変わり新たなメンバー加入もありました。演奏する楽器もリコーダー、マラカス、ピアノなど種類も増え今後は色々なジャンルの演奏も考えているようです。個人的にはご利用者の皆様には馴染みがないかもしれませんが、「ゆず」の曲は活気があり良かったように感じました。練習を2ヶ月みっちりした成果が出たように思います。馴染みのある曲ではご利用者も一緒に歌って頂き、皆様の笑顔を見られた事をとても喜ばしく感じました。



お祭りの食事はいつもとは趣向の変わったもので「もう食べられない」と沢山召し上がって頂けたようです。特にスイーツは好評だったように思われます。

現在は2階食堂中央の柱に写真を展示していますが、今回はかなりの枚数を撮り二面に渡り展示しています。どの写真も笑顔があり、良い写真になっていますので、是非ご自身の写真を探して頂けたらと思います。

今年の5月には当施設もワクチン接種を行い、少しはホッとしましたがまだまだ気の抜けない状況が続いています。

ご利用者には直接の面会も控えて頂き、職員一同心苦しく思っています。

来年こそは皆様のご家族と一緒に過ごせるお祝い、お祭りになることを願っております。

2階介護:堀内裕一郎



敬老会

涼しい秋風に木々の葉も変わり始め、いつの間にか季節は

すっかり秋模様となって参りました。

3階では、先日の9月26日、少し遅くなりましたが、敬老会を行いました。

今年は1名のご利用者の“米寿”をお祝いさせて頂きました。

お祝いの色紙と綺麗な花束をプレゼントされ喜ばれ、マイクを手に持ち、一生懸命に敬礼を仰る姿に感動し、皆が笑顔になりました。

例年ならば、外部からボランティアの和太鼓演奏の方々などを招いていましたが、コロナ禍という事もあり、今年も当施設職員有志の音楽バンド「ケアポケッツ」による歌と演奏を行いました。



皆が黄色いボンボンを手に持ち、曲に合わせて体を動かしながら、ご利用者によっては知っている曲を口ずさみ、時には曲を聴きながら、涙ぐんでいるご利用者や職員の姿がとても印象に残りました。

アンコールでの「北国の春」の曲に合わせて行った体操も。皆一生懸命楽しんで、短い時間ではありましたが、素敵な時間になりました。来年も笑顔が溢れる、楽しい会になればと思いました。

3階介護副主任：荒木 順子

花火大会

日増しに秋の深まりを感じる季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

先日ケアポート・田谷では、花火大会が行われました。今年もコロナウイルスの影響により、昨年同様花火大会は田谷祭りとは別日の開催となりました。

花火大会当日はお天気にも恵まれ、ご利用者の皆様も朝から花火大会を楽しみに過ごされていました。夕食を終えると、いよいよ花火大会です。花火は例年通り施設前の駐車場で行われ、それぞれのフロアーのベランダと1階玄関前から見ていただきました。

1年ぶりのきれいな花火を皆様で見る事ができ、短い時間ではありましたが楽しい時間を過ごしていただけたのではないのでしょうか。

来年こそは、盛大にご家族や近隣の皆様にも参加して頂ける田谷祭りが開催されますよう楽しみにしています。



看護副主任：齋藤 梨紗

夏恒例！すいか割り大会

8月27日、入所フロアでは夏恒例のすいか割り大会が開催されました。今年も丸々と大きなすいかが用意され、会場に運び込まれ

ると「おおー！」と歓声があがりました。

目隠しをした状態で移動すると転倒しやすいので、歩行できる方には職員が後ろから支えてサポートしました。車椅子の方には職員が後ろから介助してすいかに近づく…はずでしたが、自分で車椅子を操作したいというご利用者が多数いらっしゃいました。その結果、すいかではなくご利用者の集団に向かって突き進む方が続出。「こっちじゃないよ！あっちあっち！」と必死に伝える観客側のご利用者。ちょっとしたパニック状態になりながらも、大いに盛り上がりま



した。やっとの思いですいかに近づいても、僅かの差で空振りしてしまい、すいかはなかなか割れません。「もう1回挑戦したい」と、先ほど失敗されたご利用者が再挑戦。慎重にすいかに近づき、振りぬいた棒は見事スイカに命中してリベンジを果たしました。その方の達成感に満ちた嬉しそうな表情と、一緒になって喜ぶほかのご利用者の様子はとても印象的でした。最後は皆さんですいかを美味しくいただき、今年のすいか割り大会は幕を閉じました。

なかなか外出できないご時世ですが、施設内でも季節を感じられるイベントを企画していますので、これからもご期待ください。

リハビリテーション科副主任：坂本 一樹

アンコールまで熱唱!! デイケア敬老会

今年の敬老会は、看護課長の玉置（ギター・コーラス）、事務主任井出（ボーカル）の二人による、歌謡ショーを行わせて頂きました。

1つ目のプログラムは、歌にちなんだ穴埋めク

イズです。これは演者が歌詞の一部を抜いて歌謡曲を歌います。その抜けた部分の歌詞を、ご利用者に当てて頂くというものです。皆様、リズムに合わせ揚々と歌詞を口ずさみながら、うまく正解を導きだされていました。正解数が多かった優秀者には、パンダ、インコ、フクロウ等のペーパークラフトをプレゼント。職員による力作です。

そして、次は歌謡ショーのスタートです。曲目は、

- ① 戦争を知らない子供たち
- ② 初恋
- ③ 青葉城恋歌
- ④ 幸せなら手を叩こう
- ⑤ 高原列車
- ⑥ 上を向いて歩こう
- ⑦ 見上げてごらん夜の星を
- ⑧ ふるさと

どれも、皆様になじみのある選曲です。

ショーの最中、多くのご利用者がリズムに乗りながら歌っておられ、楽しまれている様子が伺えました。中には、ボーカルにも負けない



歌声を披露されている方も...

ラストは、もちろんアンコール。皆で、北国の春を熱唱いたしました。

最後に、敬老会のプレゼントとして、壁画（後記事）をバックに撮った個人写真をお渡ししました。明るい笑顔と明るいハワイアンの壁画がとてもマッチしています。今回の敬老会は、皆様にとっていかがでしたでしょうか？



今後も楽しんで頂けるイベントを行っていきたいと思っております。

そして、素敵な歌謡ショーを行った職員にも、感謝を申し上げます。

通所介護副主任：上野 亘



皆で作った力作です。 —作品よりも大事なモノ—

ケアポート・田谷では、田谷祭り・敬老会に綺麗な背景と共に撮影した写真をプレゼントすることが、恒例となっております。その背景を、

今年も通所リハにて作成致しました。

テーマは、“南国の海”。夕日が砂浜に沈む風景をモチーフに仕上げております。そして、砂浜を彩るアイテムには、ヤシの木や実。ハイビスカス等のお花。そして腰ミノを付けた、今にも踊りだしそうなダンサーを準備することになりました。



作成はご利用者・職員の全員参加。基本的には、作業時間を決めての作成です。ただ熱心なご利用者は、空き時間を見つけては取り組まれているようでした。作業工程は貼り絵を中心とし、それぞれの個性に合わせた分業にて完成しています。

また各アイテムのこだわり（観察ポイント）についてですが、ヤシの実には様々な色で仕上げ、味わい深い見栄えとなっております。ハイビスカス等にはお花紙を素材とすることで、柔らかさを表現しております。そして、ダンサーにはきらびやかな腰ミノ。この部分

には、あるご利用者が、紐を使いご自宅で編んでこられた物を使用しております。色合い、生地の完成度が素晴らしくとても驚かされました。これらと風景画を合わせることで、立体感の演出を目指しております。

どの作業も、ご利用者にとって大変な工程だったと思われるかもしれませんが、どれも上手く完成しております。

お手元の写真は如何でしょうか？作品には魂が宿ると言います。私には、コロナ禍による閉塞感とは程遠い素敵な海の広がり、これからの可能性や、人の持つ穏やかさが感じられました。



今後も皆様の心に寄り添える介護を目指し、制作など色々なことを一緒に楽しみながら、この職業に携わっていこうと思います。



通所介護：平野 直子

